

増刊 蓮田病院広報 JIN特集号



日曜劇場「JIN-仁-」の撮影後記

TBSテレビ 日曜劇場「JIN-仁-」の撮影が蓮田病院内で今年2月15日（火）に行われました。タイムスリップ×歴史医療ロマン物語です。江戸時代の武士「佐久間象山」が少年時代に木から落ちて現代にタイムスリップして治療を受けるシーンが蓮田病院で撮影され、4月17日（日）の2時間5分スペシャルで放映されました。番組最後のタイトルスクリーンに撮影協力病院として放映されました。世界80カ国で放映予定だそうです。

※撮影秘話：少年時代の佐久間象山が再び江戸時代にタイムスリップする階段はA棟2階の検診センター・化学療法室前の階段です。
院長代行 兼子 順

第1話 4月17日放送(初回拡大2時間5分スペシャル)

(写真) 時を超え、南方仁(大沢たかお)が幕末の江戸時代に迷い込んでから、2年ほど経ったある日のこと。

落ち込む橘咲(綾瀬はるか)の様子が気になり、咲の実家を訪ねた仁は、咲の兄・橘恭太郎(小出恵介)から、咲の母・栄(麻生祐未)が脚気であることを明かされる。恭太郎によると、数日前、栄の身を心配する咲が橘家を訪れ、医師に診てもらおう進言したのだが、縁談を破談にしまった咲をいまだ許していない栄は、咲が橘家の敷居を跨ぐことさえ認めず追い返してしまったというのだ。何とかして栄を助けたいと考えた仁は、甘いものが好物だという栄のため、とあるお菓子をこしらえて脚気治療を行おうとするのだが…。

(写真) そんなある日、仁に助けを求め、京から坂本龍馬(内野聖陽)がやって来る。聞けば、勝海舟(小日向文世)の師である佐久間象山(市村正親)という人物が何者かに襲われ、ケガをして瀕死の状態に陥っているというのだ。時代に影響を与えている重要な人物を助けることで、「歴史を大きく変えてしまうのではないか」と悩みつつ、龍馬と共に京都入りする仁。そこには、生きているのが奇跡といえる程の重症を負った象山の姿があった。

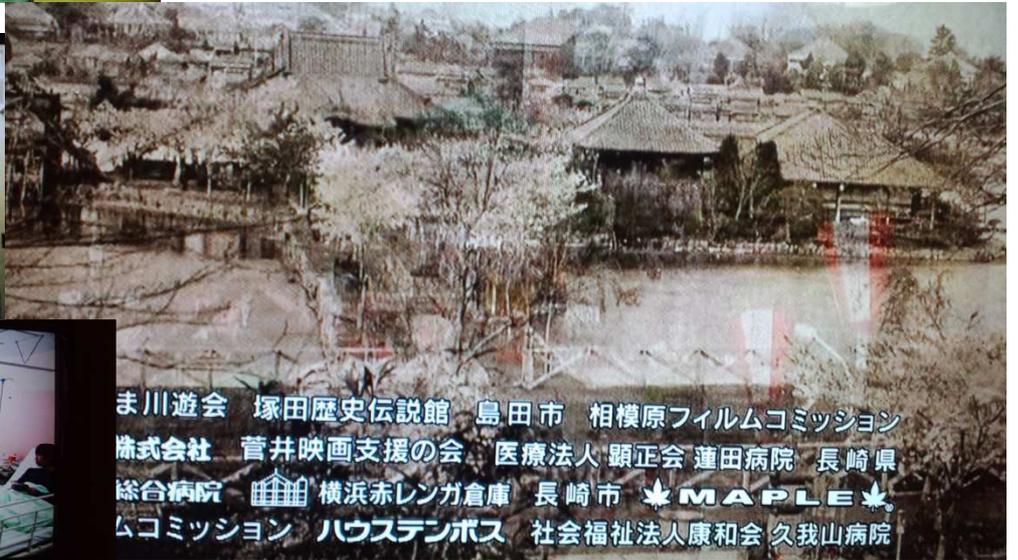
仁の必死の治療の甲斐もあって、なんとか一命を取り止めた象山。その時、意識を取り戻した象山の口から、驚きの言葉が…!

その後、京都に留まり、長州と薩摩の戦いによって怪我をした人々の治療に専念する仁は、突然現れた新撰組によってどこかへ連れ去られてしまう。仁が連れて来られたのは、薩摩藩邸にいる西郷隆盛(藤本隆宏)のもとだった。西郷は、今すぐ腹を切って手術をしなければ、命の危険にかかわるほどの虫垂炎を患っており…! ?





残念、階段のところが保存されてなかった
ので、またとで



ま川遊会 塚田歴史伝説館 島田市 相模原フィルムコミッション
株式会社 菅井映画支援の会 医療法人 顕正会 蓮田病院 長崎県
総合病院 横浜赤レンガ倉庫 長崎市 MAPLE
フィルムコミッション ハウステンボス 社会福祉法人康和会 久我山病院